

平成26年第2回(6月)筑紫野市議会定例会一般質問

質問者	質問題目	質問項目
1 (2番) 永岡 正光	1 少子化対策について	(1) 出生率、出生数や人口動態(自然減)などの状況と傾向について
		(2) 今日までの取組み状況と課題について
		(3) 今後の取組みへの考えと方向性について
	2 近隣自治体との広域連携について	(1) 今日までの広域連携の状況について
	(2) 今後の連携への考えと方向性について	
2 (10番) 森田 健二	1 活字離れ対策について	(1) 読書通帳の導入について
	2 医療費の削減対策について	(1) ジェネリック医薬品の使用促進について
3 (9番) 尾野 正義	1 若い学生の自殺防止について	(1) 若い学生の自殺防止策を考えてはどうか。
		(2) 本市の実態はどうか。
		(3) 本市の取組みについて知りたい。
4 (18番) 古瀬 富美子	1 「教育サポートセンター」について	(1) 学校での悩みを抱える子どもと保護者の相談窓口の一本化について
		(2) 個々の子どもの幼児期から小中学校まで一貫して支援することについて
	2 「消防団協力事業所」の認定制度について	(1) 消防団員の確保と勤務中の活動がしやすい環境について
5 (6番) 中川 康隆	1 公共施設等総合管理計画について	(1) 公共施設等総合管理計画に対する市の考えについて
6 (16番) 篠原 範子	1 子ども・子育て支援制度について	(1) 来年3月までに「子ども・子育て支援事業計画」を策定しなければならないが、進捗状況はどうか。
		(2) 学童保育の基準について厚労省の省令が公布されたが、これにもとづいた条例の制定について聞く。
		(3) 学童保育指導員の処遇改善について聞く。
		(4) 保育所の公定価格が提示されたが、保育料の所得階層の細分化や引き下げについて市の見解を聞く。
	2 予防接種の償還払いについて	(1) 近隣市町村の償還払いの状況を尋ねる。
		(2) 筑紫野市民の県外での接種の状況を聞く。
		(3) 償還払いを実施するためには予算措置はいくらになるのか。
		(4) 県外で接種した場合、第1子、2子等に関わらず、償還払いを早期に実施すべきではないか。見解を聞く。
	3 消防団員の処遇改善について	(1) 消防団員の報酬額を交付税単価に引き上げるべきではないか、見解を聞く。
		(2) 消防団員の出動件数は、出動内容ごとでは何件ぐらいになるのか。
(3) 費用弁償について、「活動実態に応じた出動手当の検討」を行うべきではないか。		

平成26年第2回(6月)筑紫野市議会定例会一般質問

質問者	質問題目	質問項目
7(15番) 城間 広子	1 障害者権利条約に基づく障害福祉サービスの充実について	(1) 障害者・家族の厳しい現状からくる切実な要望である市内での障害者のショートステイ事業の拡大について
		(2) 就労移行支援事業、就労継続支援事業の拡充について
		(3) 障害年金の拡充、作業所の工賃の引き上げについて
		(4) 65歳から介護保険利用となり、費用負担が発生したり、必要な支援が受けられなくなることへの対応について
		(5) 軽度の聴覚障害の補聴器購入費に県が3分の1補助することであるが、市の対応は。
		(6) 国は今年度から障害児通所施設利用者負担について多子負担軽減措置を導入するが、市の対応は。
	2 高齢期を安心して暮らせるまちづくりへ市独自施策の拡充を	(1) 介護保険認定者数、利用者数、要支援1・2の人数。要支援1・2の訪問介護、通所介護利用者数と対応について
		(2) 市内特別養護老人ホームのベッド数、入所者数、待機者数、今年度増設床は。要介護1・2の希望者数と対応は。
		(3) 市内病院のベッド数の削減は。医療・介護総合法案で検討している入院の短期化の内容は。
		(4) 介護保険利用料が2割になる人の数は。
(5) 来年4月第6期介護保険事業計画では、保険料はどうなるのか。所得区分を拡大すべきでは。		
(6) 市独自の介護保険料・利用料の軽減について		
(7) 高齢者独居世帯数、高齢者夫婦のみ世帯数は。見守りはどうしているのか。		
3 雇用対策について	(1) 今年度の緊急雇用創出事業臨時特例基金事業(地域人づくり事業)の委託方針について	
8(8番) 上村 和男	1 筑紫野市の水道事業について	(1) 水道事業の経営状況について
		(2) 今後の水事情と対策について
		(3) 水道ビジョンについて
	2 筑紫野市の農業の将来像について	(1) 筑紫野市の農業の状況について
		(2) TPP(環太平洋経済連携協定)への参加と今後の見通しについて
		(3) 第5次総合計画の中での農業の位置づけについて
9(1番) 武光 誠	1 同和地区問い合わせ事象について	(1) ここ数年の状況と対応について
		(2) 福岡県宅地建物取引業協会への取り組みについて
		(3) 市内の宅地建物業協会への取り組みについて
	2 高齢者問題について	(1) 介護サービス見直しについて
		(2) 先進的事例に学ぶ徘徊高齢者対応について

平成26年第2回(6月)筑紫野市議会定例会一般質問

質問者	質問題目	質問項目
10 (5番) 井上 剛士	1 少子化対策について	(1) わが市の出生率について
		(2) 子育てしやすい町づくりについて
	2 農業政策について	(1) 青年就農給付金事業について
		(2) 経営所得安定対策について
11 (7番) 宮原 智美	1 人と動物が共生できる社会にむけて	(1) 動物愛護や管理についての相談、苦情等の状況とその対応について
		(2) 市の動物愛護の考え方について
		(3) 地域猫活動についてどう考えているか。
	2 学童保育について	(1) 子ども・子育て支援法施行で学童保育はどう変わるか。
		(2) 保育対象学年の拡大、保育時間の延長が必要ではないか。
		(3) 委託料について
12 (19番) 田中 允	1 ならし保育の繰り上げ実施について	(1) ならし保育期間中に呼び出しが来ても簡単に職場を離れられない現状をどの様に考えているか。
		(2) ならし保育の期間中に、一時預かりが発生した場合、金銭を負担する市民の立場をどのように理解されるか。
		(3) ファミサボ等の一時預かりでは短期間のことであり子供との信頼関係の構築は難しい、ならし保育の前倒しをできないか。
	2 学童保育の現状と将来の課題について	(1) 学童保育は現在NPO法人ちくしっ子ネットワークで運営されている。市が約9千万円近い助成を行っているがどの様に連携されているのか。
		(2) NPO法人に変わってどの様に変わったのか。
		(3) 概ね学校敷地内で運営されているが、NPO法人、学校、市との三者間で連携に問題はないのか。
		(4) 今後、全学年を対象に学童保育が運営されるようになるがその対応について三者間の協議は進められているのか。
		(5) 学校全体として放課後に色んな取り組みをしているところもある。市は学童保育のあり方についてどの様な理想像を掲げているのか。
		(6) 放課後保育の一元化など検討できないか。
		(7) 二日市北小学校では学童保育施設が狭いので拡張を要望されているが市の対応は。
	3 市民プールの建設について	(1) クリーンヒル宝満を中心とした2市1町による市民温水プールはできないものか。

平成26年第2回(6月)筑紫野市議会定例会一般質問

質問者	質問題目	質問項目
13 (3番) 辻本 美恵子	1 産業廃棄物処理場に関する取り組みについて	(1) 山神ダム上流域の産廃処分場周辺水質検査について
		(2) 山家産業廃棄物処理施設意見書について
		(3) 山家地区環境調査について
	2 高齢になっても安心して住み続けることができるまちへ	(1) 介護保険改正による地方自治体の課題について
		(2) 筑紫野市内の高齢者施設の現状について
		(3) 在宅を支える体制について
		(4) 福祉関連の専門職の育成について
	3 不登校、ひきこもり、ニート状態の若者への支援について	(1) 現状認識と実態把握について
		(2) 不登校、引きこもり、ニート状態の若者への支援策について
		(3) 行政としての今後の取り組みについて
	4 再生可能エネルギーへの取り組みについて	(1) 地域にある再生可能エネルギー資源の把握について
		(3) 地域における再生可能エネルギー産業と雇用について